

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

氏 名	H.S	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	2 年	派遣国	フランス
派遣大学	トゥーレーヌ語学学院		
コース名	Intensive French Program		
期 間	2025 年 6 月 22 日～2025 年 8 月 17 日		

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800 字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

授業の開始時間は毎日 9 時からで、月曜・水曜・金曜は 12 時 20 分まで、火曜・木曜は 16 時 20 分までだった。祝日がある週には、調整のために朝 8 時から授業が始まったり、午後まで授業がある曜日が増えたりした。

渡航前にオンラインで行った簡単なテストによって、レベルごとにクラス分けがされていた。授業は文法や語彙の座学だけでなく、屋外で行うアクティビティも多かった。文法では複合過去と半過去の違いや未来形などを学び、また日常生活でよく使う名詞や動詞を覚えたり、フランス語の歌でリスニング練習をしたりした。授業はフランス語で進むので、自分でフランス語を使う機会が多く、学んだ表現を実際に使うという練習をたくさん出来て日本での学習とは違った学びを体験することが出来た。

午後は屋外でのアクティビティ授業が多く、班に分かれてトゥールの街を歩きながら、お城や教会を巡ってフランス語で書かれた問題に答える活動が特に印象に残った。同じ班の人と会話する機会が自然に増え、アウトプットの良い機会になったと感じている。

クラスは少人数制で、分からないことがあればすぐに質問できる雰囲気があった。先生方は私がフランス語で話している間、根気強く耳を傾け、分かりやすく答えてくださった。

授業は 4 週間ごとに一区切りで、最後の 2 週間にはテストが行われ、それをもとにクラス替えが行われた。課題の量は先生によって差があったが、基本的には次回の授業で使うプリントを事前に家で取り組むという形式であった

放課後には任意参加のアクティビティがいくつかあり、さまざまな国の学生と交流することができた。私はフォトアクティビティに何度か参加し、他国の友人をつくることができた。アクティビティを通して、楽しみながら自分の考えをフランス語にするという練習ができ、とても良い練習になったと感じている。

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500 字程度)

語学学院の授業を通して日常会話に必要なスキルを伸ばすことが出来たと感じている。大学の授業で一通りの文法を終えてから渡仏したが、複合過去と半過去、未来形などややこしい文法事項を実際のコミュニケーションの中でどのように使うのかよく分かっていなかったため、実践的な使い方を理解することが出来た。

また、会話の中でよく使用する日常生活の単語や、お店・薬局で使える表現を多く覚えることができ、基本的な名詞や動詞を使って日常生活に必要な会話ができるようになった。日本では文法重視で勉強をしていたのでリスニングが全く出来なかったが、日々の授業でのリスニング練習や先生、クラスメイトとの会話の中で着実にリスニング力を伸ばすことが出来た。

さらに、クラス替えのためのテストには DELF が使用されていたため、自然と試験対策にもつながった。授業の中で学んだことを確認し、試験対策もできる良い機会になった。これらの経験を通して、自分に足りていない部分や今後の課題も明確になり、引き続き学習を続けていくモチベーションとなった。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように（気持ちなどが）変化したか。(400 字程度)

授業を受ける前までは全くフランス語のリスニングができず、話すことにも抵抗があった。しかし授業を重ねていく中で、ゆっくりであればある程度聞き取ることができるようになり、先生が根気強く耳を傾けてくださるおかげで、間違っているもとりにあえず話そうという気持ちになることができた。間違っていればその場で直してくださるので、堂々と話すことができるようになった。

また、これまでは分からない部分があっても「あとで調べればよい」と流してしまうことが多かった。しかし、クラスメイトの中には分からない部分はその場で質問し、納得するまで確認する人が多く、私もその真似をすることで、積極的に発言し質問することができるようになった。こうした経験は、単に語学力を伸ばすだけでなく、積極性を伸ばす上でも良い経験になったと感じている。

今後は大学のフランス語の授業においても、分からないことがあれば積極的に質問し、学習を受け身で終わらせるのではなく、自ら理解を深めていく姿勢を持ち続けたいと考えている。

(4) 今後はどう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300 字程度)

帰国してからは留学中に伸ばしたリスニング力をさらに伸ばしていくために毎日ポッドキャストなどを聞いているので、今後もそれを継続していきたい。また、留学中に会った他国の友人やフランス人の友人と連絡を取りあっているので、今後も定期的にメッセージを送ってフランス語のモチベーションを保ちたいと考えている。

また、今年の 11 月にフランス語の試験である DELF を受ける予定であるため、日常会話だけでなく試験に向けた対策も行っていきたい。

言語は使わなければすぐに忘れてしまうものであるため、アウトプットを意識しながら継続して学習を続けていきたい。